

AALTO HAPS Limited への出資について

～本邦金融機関初となる HAPS 事業者向け出資コンソーシアムへの参画～

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）は株式会社 NTT ドコモ（以下、「NTT ドコモ」）および株式会社 Space Compass（※1、以下、「Space Compass」）が主導するコンソーシアムを通じ、Airbus SE（本社：オランダ王国、CEO：ギヨム・フォーリ、以下「エアバス」）傘下の AALTO HAPS Limited（本社：英国、CEO：サマー・ハラウィ、以下「AALTO」）に対して株式会社日本政策投資銀行とともに出資契約を締結しました。

なお、本出資は、2023 年 2 月に新設された価値共創投資枠（※2）を活用し、NTT ドコモ、Space Compass との価値共創を目的とするものです。

AALTOは、親会社である世界最大の航空機メーカー、エアバスの航空機製造のノウハウを活用し、2022年に64日間という無人航空機として世界最長の連続飛行時間記録を持ち、現在世界で最も安定的な長期飛行能力を有する無人航空機（UAV）型HAPS（High Altitude Platform Station/高高度プラットフォーム、以下「HAPS」）である「Zephyr」の開発と製造および運用を行っております。「Zephyr」は太陽光発電を利用したクリーンエネルギーにより長期稼働可能で、成層圏（高度約20km）から広域に無線通信サービスや観測機能等を提供できるという特徴があります。通信インフラが未整備の遠隔地や離島、通信が一時的に寸断された災害地域等での非地上ネットワークシステムによる通信サービスの提供や、高解像度画像や搭載センサーを用いた都市開発、土地利用の最適化等のリモートセンシングサービスの提供を通じて、さまざまな分野での活用が期待されています。

NTT グループは NTT ドコモ、Space Compass 及びその他グループ会社を通じて、宇宙空間を利用し、より高速で安定したデータ通信網の構築を実現しようとする「宇宙統合コンピューティング・ネットワーク構想」を推進しており、HAPS は同計画において、地上の携帯端末との直接大容量・低遅延の通信を提供する通信インフラとして重要な役割を果たすものと位置付けられています。将来的には、地上と、HAPS 等の非地上ネットワークを統合させた、次世代通信網の構築を目指しています。

みずほ銀行は、地域の産業・経済基盤である通信インフラの維持及び更なる高度化が日本の重要な社会課題であると認識し、この課題を解決するような持続可能な通信インフラの構築を目指す NTT グループの構想実現を後押しすべく、価値共創の取り組みの一環として本出資を行います。出資により事業リスクを一部テイクしながら、既存出資先を含む顧客基盤を活用した宇宙や通信産業におけるバリューチェーンの構築など新たな事業モデルの創出と普及・拡大に向け、ともに挑戦していきます。

〈みずほ〉は、お客さまの価値共創パートナーとして更なる真価を発揮することを通じて、次世代の有望産業・企業の育成に貢献し、持続的に発展する未来を創っていきます。

※1 日本電信電話株式会社とスカパーJSAT 株式会社の合併会社です

※2 2023 年 2 月 15 日付プレスリリース：「価値共創に向けた取組みの強化について」

https://www.mizuhobank.co.jp/release/pdf/20230215release_jp.pdf

【AALTO の概要】

会社名 : AALTO HAPS Limited

代表者 : サマー・ハラウイ

設 立 : 2022 年 2 月

事 業 : 高高度プラットフォームの製造および通信・観測サービス提供

U R L : <https://www.aaltohaps.com>

以 上

ともに挑む。ともに実る。

MIZUHO